

回答期限 令和5年8月31日(木)

このお知らせを確認するワン!



## ひなん支援の調査へのご協力のお願い(令和5年度)

ひろしま都市犬 はっしー

災害に備えた大切な調査ですので、必ず、このお知らせを最後までお読みいただき、同封の調査票に記入して返信してください。

<問合せ先> 広島市避難支援・対策調査コールセンター

電話番号: 0120-944-487 / ファクス番号: 082-504-2802

※ ふりがなつきの書類をご希望の方は、コールセンターに連絡してください。

※ 期限までに回答がない場合などは、コールセンターから電話をする場合があります。

### 1 調査の内容について

この調査は、災害時に自分ひとりでひなんすることが難しいと思われる人が、地域の支援を受けて安全にひなんできるように、地域で支援に関わる人へ個人情報を提供することに同意するかどうかなどの確認とあわせて、ご自身のひなん先やひなん方法などを「わたしのひなんシート」にお書きいただくものです。

#### ご理解いただきたいこと

- 災害時の地域によるひなん支援は、助け合い(共助)によるものであり、法的責任や義務を伴うものではありません。また、地域全体が被災する場合もあり、必ずしも支援が受けられるものではありません。
- 個人情報の提供に同意された場合は、安否確認や「わたしのひなんシート」作成などひなん支援に関する地域での取組にご協力ください。

### 2 調査の対象となる人について

災害時に、自分ひとりでひなんすることが難しいと思われる人

(令和5年4月1日現在で以下のいずれかの要件に該当する人)

- 要介護3以上の人
- 身体障害者手帳1・2級又は肢体不自由3級の交付を受けている人
- 療育手帳④又はAの交付を受けている人
- 精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている人
- 居宅介護、短期入所、補装具費の支給を受けているか、日常生活用具の給付サービスを受けている難病患者
- 上記の要件に準ずる状況で、自力でのひなんが困難であると市長が認める人

### 3 「わたしのひなんシート」とは

「わたしのひなんシート」とは、災害のおそれがある場合に、ひなん行動を迅速に行うため、お一人おひとりに『誰と』『どこに』『どうやって』ひなんするかなどをあらかじめ考え、まとめておいていただくものです。個別避難計画ともいいます。

#### 「わたしのひなんシート」の内容

- ひなん先 ○ 家を出るまでに準備すること ○ ひなん先までの移動方法
- ひなんに必要な時間 ○ ひなんを支援する人

### 4 「わたしのひなんシート」を書くときは

調査票の中の「わたしのひなんシート」を使って、「ひなん先」や「あなたのひなんを支援する人」など災害時のひなんについて、考えてみましょう。ひなんシートの作成について、詳しくは市HPでご確認ください。



#### 書くときに知っておいてほしいこと

- 「わたしのひなんシート」は書ける範囲でお書きください。書くことが難しいところは空欄でも構いません。
- 過去の「ひなん支援の調査」等で「わたしのひなんシート」をすでに作成した人は、お手数ですが、ひなん先などを再確認し、今回送付した「わたしのひなんシート」にお書きください。
- 「わたしのひなんシート」の「ひなん先」と「あなたのひなんを支援する人」が埋まっているものは、調査票のコピーを返送しますので、あなたのひなんを支援する人と共有してください。

### 5 お住まいの地域の災害の危険性について


お住まいの地域の災害危険性等を、「わたしのひなんシート」に表示しています。



- 災害種別ごとに、該当する人の「わたしのひなんシート」に表示しています。
- 土砂災害 : 広島県が指定又は公表している土砂災害特別警戒区域又は土砂災害警戒区域のいずれかの区域内に居住する人
  - 洪水 : 計画規模降雨(河川整備における基本となる降雨)を想定した洪水(国及び広島県の管理河川)の浸水想定区域内に居住する人
  - 高潮 : 高潮(伊勢湾台風規模)の浸水想定区域内に居住する人
  - 津波 : 津波(広島県津波災害警戒区域図)の浸水想定区域内に居住する人

# 災害への備えについて（お知らせ）

## 地域の危険な区域を確認しましょう

ひなんに関する情報は、土砂災害警戒区域や浸水想定区域などの**危険区域を対象に発令**します。地域の危険な区域やひなん場所を、あらかじめハザードマップ\*で確認しましょう。  
 ※ハザードマップ(土砂災害・洪水・津波)は、市ホームページでご確認ください → 



## ひなん先を確認しましょう

### お住まいが災害危険区域にある場合


ひなん先として、**安全な場所にある親族・知人宅や市が開設するひなん場所**\*1などが考えられます。家族や友人などと相談して、**あらかじめひなん先を決めておきましょう**。なお、津波などの浸水に対しては、早めに浸水想定区域外の高台など安全な場所にひなんすることが原則ですが、高台などに行くことが難しい場合のために近くの浸水時緊急退避施設\*2を確認しておきましょう。

### お住まいが災害危険区域にない場合

**災害時に自宅で生活できなくなった場合に備えて、市が開設するひなん場所などひなん先を確認しましょう。**

※1 原則、小学校区内の拠点的なひなん場所（1箇所）を開設します。市が指定する全てのひなん場所を開設するわけではありません。

※2 津波や洪水、高潮等の際に、緊急一時的に退避するための施設です。

市が開設するひなん場所や浸水時緊急退避施設は、市ホームページでご確認ください。→ 

## 必要なものを備蓄しましょう

災害に備えて、**3日分（できれば1週間）の食料や飲料水などを備蓄**しましょう。生活の中で使っているものを多めに買い、消費しながら買い足す「**ローリングストック法**」なら、効率よく備蓄ができます。



## 非常持ち出し品を準備しましょう

ひなん先で過ごすために必要なものを、非常持ち出し品として準備しましょう。

- |         |   |   |
|---------|---|---|
| 持ち出し品の例 | <input type="checkbox"/> 水（500mlを3本程度）                  | <input type="checkbox"/> 非常食（缶詰、ビスケットなど）  |
|         | <input type="checkbox"/> 懐中電灯・ヘッドライト                    | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 乾電池 <input type="checkbox"/> 携帯電話（充電器も）                   |
|         | <input type="checkbox"/> 現金（小銭を多めに）                     | <input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> マスク |
|         | <input type="checkbox"/> 手帳（健康保険証、障害者手帳、介護保険証、おくすり手帳など） |   |
|         | <input type="checkbox"/> 普段から服用している薬 など                 |   |



## 防災情報入手しましょう

防災情報入手することは、ひなんの判断をするうえで、とても大切です。


### テレビ（データ放送）

**リモコンのdボタン**を押すと、データ放送画面が表示され、気象情報やひなん情報などの防災情報を確認することができます。



### 広島市防災情報メール

ひなん情報の発令や、開設中のひなん場所などの情報をメールで受け取れます。  
[entry@k-bousai.city.hiroshima.jp](mailto:entry@k-bousai.city.hiroshima.jp)

 登録用メールアドレスに空メールを送って事前登録をしてください。


★お住まいが災害危険区域にある場合のみ  
 防災情報メールの内容を、電話☎でお知らせするサービスを利用できます。本人又は支援者の固定電話か携帯電話の1つを登録できます。

（洪水などの浸水想定区域内でマンション3階以上にお住まいの場合は対象外になるなど、一定の利用条件があります。詳しくはコールセンターまでお問い合わせください。）

### ひろしま避難誘導アプリ

ひなん情報などをお持ちの携帯電話に自動的に表示してお知らせしたり、現在地の危険度や開設している最寄りのひなん所へのルートを表示したりします。

ひろしま避難誘導アプリ「**避難所へGo!**」

 詳しくは市ホームページをご確認ください。



## 早めの ひなんを心がけましょう

災害危険区域にお住まいで、ひなんに時間がかかる人は、「**警戒レベル3 高齢者等避難**」が発令された段階で ひなん行動をとってください。

